

協定留学近況報告書

記入日	2017年 11月 30日
留学先大学	バレンシア大学
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):教育学部, (現地言語での名称):Facultad de Pedagogia <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2017年9月ー2018年7月
明治大学での所属	国際日本学部国際日本学科__専攻 / __研究科__専攻
学年(出発時本学での学年)	学部2年生/研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

しておいてよかったこと:

履修予定科目の予備知識。日本語の文献でも大丈夫。

奨学金の申請。私の場合、日本学生支援機構から返済なしで月 80,000 貰っている。

<http://valencia-ryugaku.com/> →バレンシアにおける生活を知る上で、このサイトは本当に参考になる。

足りなかったこと:語学の勉強。語学能力の証明書等は必要ないが、大学のサイトに DELE の B2 レヴェルを取っておくことが望ましい、とあった。本当に B2 レヴェルが必要なので、必死に勉強すべし。私は語学で死ぬほど苦労した。事務手続き、授業、友人との会話、全てスペイン語。英語はコーディネーターか留学生同士で話すときくらいしか役に立たない。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類:長期	申請先:駐日スペイン大使館
ビザ取得所要日数:二か月 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用:0円

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか?また、どのように手配しましたか?

1. 査証申請書 大使館の窓口で直接か郵便で請求・受け取る。
2. 写真(4.5x3.5)1枚
3. パスポートとコピー1部
4. 入学許可書 入学許可証はバレンシア大学の場合、サイトの個人ページからダウンロード。ただし、ビザ取得に必要な書類はメールに添付されて個人ページが開設されるより前に届く。
5. 無犯罪証明書 私は県警本部で取得。一週間かかった。
6. 残高証明書 銀行でその日のうちに発行してもらえる。
9. 宿泊証明(原本とコピー1部) バレンシア大学の場合、入学許可証が大学寮への宿泊証明を兼ねている。ただし、私は寮に入らなかったため、許可証とは別に不動産会社に頼んで宿泊証明書をメールで送ってもらった。
10. 海外旅行保険(英文あるいはスペイン文。原本とコピー1部) 明治大学が紹介する保険で大丈夫。
11. 健康診断書(発行日より1ヶ月以内のもの)(指定病院なし) フォーマットは大使館で申請書と一緒に受け取れる。診断自体は問診だけで、すぐ終わった。夏休みに入る前に、大学の保健室(医務室?)で受ければ無料。私は一般の病院で受けて五千円かかった。
12. 返信用定形封筒(宛先、郵便番号、宛名を記入し、82 円切手を貼ったもの)

具体的な申し込み手順を教えてください。					
①直接大使館に出向き、申請書を受け取る。(郵送で請求もできるようだが、私は直接出向いた)					
②申請書ほか、必要書類をそろえる。→これにひと月近く掛かった。早めに準備。					
③大使館窓口で本人が出頭の上、申請。					
④二か月後に郵送にて、ビザ発行の知らせが届く。					
⑤本人出頭の上、受け取り。					
⑥長期ビザ(三か月以上)の場合、現地警察署にて手続き(Tarjeta de Estudiante の申請)が必要。					
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？					
面接なし。					
ビザ取得に関して困った点・注意点					
私はビザの申請準備を始めたのが渡航ひと月前。発行が出発に間に合わないで、とりえず申請を済ませて出国。発行の知らせが届いた後、一時帰国した。ビザ受け取りの前にパスポートの提出が必要で、提出したのち大使館開館日3~4日ほどでようやく取得できた。					
II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)					
その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)					
お金については、デビットカードを断然お勧め。日本の口座と直結しているので、日本の家族に通帳を預け入金してもらうだけでOK。送金も現地の口座開設も必要なし、現金を持ち歩かなくて済む。即時引き落としなので、使い過ぎや利子の心配もなし。					
ケータイは、日本からスマホを持って行った。渡航前に、日本の携帯会社のSIMカードを解除し、渡航後に現地の通信会社のSIMカードを購入して使った。Movisterという会社のカードで、15ユーロ払えば一日2Gで28日間有効。しかし、学校とアパートでwi-fi通信ができたので、しばらくSIMカードなしで過ごした。					
荷物はスーツケースに入るだけ。基本現地調達。ただし、日本語で書かれたスペインの本や、日本の食材・調味料などはあった方がよい。					
III. 現地到着後のながれ					
1.到着時の様子					
利用航空会社	トルコ航空				
航空券手配方法	「航空券 格安」で google 検索→ヒットしたページを片っ端から見っていく→安さ・所要時間・乗り継ぎの時間と場所を比べる(20時間前後・12万前後)→タイリクトラベルサービスという会社で取った				
大学最寄空港名	バレンシア空港	現地到着時刻	12時ごろ		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	1時間以内				
空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等					
Metro を使うと一時間ほどで行ける。タクシーを使うと20ユーロかかった。					
大学到着日	8月28日14時頃				

2.住居について		
到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方:8月31日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他(最大8人入居できるシェアアパート、ユニットバス×2とキッチン×1が共用)	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(他国からの留学生、スペインの社会人など)	
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()	
住居の申込み手順		
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？		
<p>大学が斡旋している寮があったが、問い合わせた時点で満員と言われ、自分で渡航前に探した。バレンシアは学生が多いせいか、安価なシェアアパートが普及しており、簡単に見つかった。ビザ申請に滞在先が必要なので、大学寮に入らないなら早めに探すことをお勧め。</p>		
3.留学先でのオリエンテーションについて		
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった	
日程	9月5日	
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加	
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)	
内容と様子は？		
留学生用特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった	
授業開始日	9月11日から	
IV. その他、渡航してから必要な手続きについて		
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？		
<p>前述のとおり、長期滞在には入国後一月以内に警察署にて滞在申請(Tarjeta de Estudiante の取得)が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察署のサイトにアクセスし、申請書をダウンロード、記入、発行。 ・警察署に申請する日を予約(先方が指定してくる中から選ぶ)。私の時はサイトにアクセスした日から、2週間後くらいの日付を予約日に指定された。 ・事前に銀行で手数料を払う(15ユーロほど) ・指定された日時に出向き、申請。 ・一月後に受け取り。 <p>メインキャンパスから少し離れた、「International Office」に行けば、申請用紙、記入の指導、警察署の予約までやってもらえる。はずだったが、私の場合「ここじゃ申請できない」となぜか違う機関を紹介された。そこに行ってみたら、自力で警察署のサイトにアクセスし、申請用紙の取得と予約をするよう指示された。アパートのスペイン人に手伝ってもらい、何とか整えるも、銀行で「この紙では払い込みができない」と言われた。現地の日本人の友人たちに相談し、もう一度「International Office」に行くことになった。そこでやっと正しい用紙を GET。ただし、他の日本人たちは普通に一回で申請に漕ぎつけていたので、とにかく「International Office」に行けばいいと思われる。</p>		
2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？		
なし		
3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？		
なし		
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？		

V. 履修科目と授業について

1.履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(月 日頃)
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(10月17日頃)
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他(1週間ほど授業を見学してから。コーディネーターcoordinador に相談が必須。その後、事務室に出向いて申請)

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？
 どの学部の授業を取っても良いが、単位の半分は所属学部から選ぶこと。

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00			起床 身支度・朝食				
8:00	起床 身支度 朝食	起床 身支度 朝食	出発	起床 身支度 朝食	起床 身支度 朝食	起床 身支度 朝食	起床 身支度 朝食
9:00	自宅学習	自宅学習	社会教育学	自宅学習	自宅学習	自宅学習	自宅学習
10:00	自宅学習	自宅学習	社会教育学	出発	自宅学習	自由時間(買い物など)	自宅学習
11:00	自宅学習	自宅学習	社会教育学	社会教育学	自宅学習	自由時間	自宅学習
12:00	自宅学習	自宅学習	昼食(友人と)	社会教育学	自宅学習	自由時間	自宅学習
13:00	昼食	昼食	昼食(友人と)	昼食	自宅学習	料理	自宅学習
14:00	出発	自宅学習	友人と過ごす	自由時間	昼食	昼食	昼食
15:00	スペイン語(大学と提携している語学学校にて)	自宅学習	スペイン語(同語学学校にて)	自習(大学の図書館)	自宅学習	自宅学習	日本の家族・友人と話す
16:00	スペイン語	自宅学習	スペイン語	自習	自宅学習	自宅学習	日本の家族・友人と話す
17:00	スペイン語	出発	スペイン語	自習	自宅学習	自宅学習	自宅学習
18:00	教育理論	教育理論	自由時間	自習	自宅学習	自宅学習	自宅学習
19:00	教育理論	教育理論	自由時間	帰宅	自宅学習	自宅学習	自宅学習
20:00	ヨーロッパの起源の歴史	買い物	ヨーロッパの起源の歴史	自宅学習	自宅学習	自宅学習	自宅学習
21:00	帰宅 夕食	帰宅 夕食	帰宅 夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
22:00	自由時間	就寝準備	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
23:00	就寝準備	就寝	就寝準備	就寝準備	就寝準備	就寝準備	就寝準備
24:00	就寝		就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舍、生活全般についてなど、自由に書いてください。

＜授業について＞私は教育学部に所属している。学部内初にして唯一の日本人である。Erasmus programというプログラムの交換留学生という扱い。授業はすべてスペイン語かバレンシア語。私の場合はすべてスペイン語。大きさではなく、スペイン人は日本人の3倍速で話すので、リスニングが大変。なるべくスライドや黒板を使う、教授が英語を話せる授業を選び、録音などしながら受けている。留学生かつ言語・文化の全く異なる日本人だからと配慮してもらえることも多い(が、甘えてはいけないとは思っている)。また、学部の性質上、クラスの女子率が高く、みんな世話好き。授業中何かと助けてもらっている。また、留学生は学年や学部を跨いだ履修が可能なので、他学部で「ヨーロッパの起源の歴史」という授業を受けている。また、大学はCentro Idiomaという語学学校と提携しており、バレンシア大学の留学生は格安(65ユーロで週4時間半年のコース)で授業を受けられる。私は月曜日と水曜日に通っている。

＜友人について＞バレンシア大学は留学生を多く受け入れている。非スペイン語圏からはイタリア人、ドイツ人が多い。イタリア人はほぼ例外なくフレンドリーで世話焼き。私の友人も半分がイタリア人。スペイン人はスペイン人同士で固まっており、スペイン語が相当できないと会話についていくのが大変。でもみんなとても親切。スペイン人との会話の中で英語はほぼ役に立たない。大学では日本人はおろか、アジア人自体ほとんど見かけないが、私は中国人の留学生と仲良くなり、週に一回昼食を一緒に食べながら、日常の出来事やお互いの文化についてスペイン語で話している。スペイン語のレベルが同じくらいなので、お互いに会話練習の良い相手になっている。また、ウェルカムパーティーに浴衣を着て行ったら、いい具合に日本人や日本好きのスペイン人ホイホイと化した。知り合った人たちとは現地での滞在手続きの相談に乗ってもらったり、一緒に出掛けたりした。

＜住居について＞バレンシアはスペイン第三の都市だが、大きすぎず小さすぎず、住むのにも観光するにも丁度良い。何より、治安がとても良い。私は大学の寮に入れなかったため、自力でアパートを探し、Plaza de Ayuntamientoの付近に住んでいる。Plaza de la Reyna、Catedral、中央市場、スーパー、ショッピング街、図書館、毎月家賃を払う不動産やSIMカードを買うケータイショップなどに近く、メインキャンパスまで徒歩15分程度。バスも通っている。家賃は光熱費込みで4万円程度。大学寮より安いので、かえって良かったのかも。冷暖房はないが、石造りのため夏は涼しく快適、冬は元々そんなに寒くないらしいので問題ないようだ。8人まで住めるシェアアパートで、シャワー&トイレが2セット、キッチンが一つ。若者向けの物件で、留学生が多く住人の入れ替わりが割と頻繁。スペイン人の世話役が一人いて、色々相談に乗ってくれる。また、この世話役に誘われて、アパートの皆で飲みに行ったこともある。

＜食事について＞朝と夜は軽め、昼は多め。日本より食事の時間は2時間ほど遅い。節約のため、基本的に自炊。野菜類は中央市場、それ以外はmercadonaという大手スーパーで買っている。家具や食器、基本の調味料などは備え付けてあるが、私は日本から醤油・酒・みりん・ごま油・だしの素・麺つゆを持って行った。米は日本とほぼ変わらないものがスーパーで手に入る。日本の百均で買った水と米が量れる計量カップを重宝している。郊外のショッピングモールでうどんの乾麺も発見。日本食材専門の店も市内にあるらしいので、近々見に行きたい。こっちにきてから、料理スキルがかなり上がった(ような気がする)。CaféやBar、Cafeteriaでも10ユーロ足らずで美味しいものが食べられる。

＜自由時間・休日＞基本的に勉強に当てている。ただ、アパートの周辺や大学までの道々に面白いものが沢山あるので、特別にどこか行かなくても満足している、というもある。友人たちに誘われて、飲みに行ったり、コンサートを聞いたり、海岸や劇場まで足を伸ばしたこともある。長い昼休み(午後2時から午後4時)が存在し、その時間飲食店をのぞく個人商店は殆んど閉まっている。日曜日はスーパーもやっていない。もちろん24時間のコンビニもないので、買い物は計画的に。郊外まで出かける場合はmetroやバスを使う。路線図は大学のオリエンテーションで貰えた。また、バレンシア県では8月にTomatina、3月にスペイン三大祭りのLas Fallasが行われる。私はTomatinaに合わせて入国し、祭りに参加したが、とても良い思い出になった。

＜その他＞課題とゼミの手続きと、現地の滞在手続きのが重なった時は死ぬかと思った。計画性は重要。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

まず第一に、語学の勉強をしっかりとっておくこと。特にバレンシアは早口な上、訛りの酷い人も多いので、リスニングは強化しておくこと。本当にDELEのB2を取得しておくべき(DELEは年3回ほどしか行われたいの計画的に)。留学生同士の会話ツールとして英語も磨いておくに越したことはない。また、語学学校はスペイン人以外の友人ができるし、先生がスペインの文化やイベントをちよちよ紹介してくれるのでためになる。第二に、友人を見つけること。クラスで英語の分かるスペイン人の友人や、スペイン語の上手い留学生の友人を見つけておくと授業についていく上で大変助かる。非スペイン語圏からはイタリア人、ドイツ人が多い。イタリア人はほぼ例外なくフレンドリーで世話焼きなので、仲良くなりやすい。また、アパートは自力で探すことをお勧めする。留学生をターゲットにした良物件も多く、英語でやり取りできる不動産会社もある。ただ、宿泊証明書は自分で請求すること。また、日本語や日本文化のことはやはりよく聞かれるので、説明できるようにしておくことよい。私は東京の人口が答えられなくて困ったことがある。それと、ジャンプやサンデーあたりの有名漫画・アニメはストーリーを抑えておくと、サブカルチャー好きの人たちと会話が弾む。

私はこちらで生活するとき、常に「今ここでしかできないことをする」ことを意識している。特に、友人たちと過ごす時間は大切にしている。また、実家から日本人が圧倒的に多い大学に通っていたのを、今は一人で言葉もいまいち通じないような環境にわざわざ身を置いている。苦勞も多いが、マイノリティの経験を得る貴重な機会と思い、「分からなくて当たり前」と思いながら様々なことに見切り発車で突っ込んでいく勇気は本当に必要なことだと思う。